

上智大学でまなぶ

グローバル・イシュー

“国際問題の最前線”

今日、世界中には学校に通うことのできない子どもたちが約6,700万人、
文字の読み書きができない大人は約7億9,600万人もいます。

これらの人々の多くは、開発途上国と呼ばれる社会に暮らしています。そういった途上国では、
教育を受けることのできない人々が大勢いる状況が、貧困、差別、紛争、感染症など、
途上国が直面しているさまざまな問題の原因になっています。

こうした状況を改善するために、国際社会は多様な働きかけをしています。

その最も象徴的なイニシアティブが、

「万人のための教育 (Education for All: EFA)」という国際的な基礎教育普及のための運動です。

このEFAという国際目標を実現するために、1990年代から

世界中の途上国に対して先進国政府、国際機関、NGOなどが積極的に支援を行っています。

本講座では、こうした途上国の教育状況や国際的な教育開発援助の動向について概説するとともに、
とくにカンボジアを事例として取り上げる予定です。講義を通して、

途上国社会における教育のあり方について紹介するとともに、国際教育協力のなかで私たち一人ひとりに何ができるのかを
皆さんと一緒に考えていきたいと思います。



2011年度 途上国の教育と 国際協力の役割
第3回
—カンボジアの教育を通して私たちにできることを考える—



講師：北村 友人

上智大学
総合人間科学部 教育学科 准教授

1996年、慶應義塾大学文学部教育学専攻卒業。
2000年、カリフォルニア大学ロサンゼルス校 (UCLA) 教育学大学院博士課程修了。博士(教育学)。大学在学中より Bangladesh の農村部における小学校支援の NGO 活動に関わり、大学院修了後は国連教育科学文化機関 (ユネスコ) のバリ本部教育局にて勤務。ユネスコでは「万人のための教育 (EFA)」事務局の一員として、途上国の教育政策づくりの支援などに取り組む。その後、名古屋大学大学院国際開発研究科・准教授を経て、2010年4月より上智大学総合人間科学部教育学科・准教授を務めている。他にも、ジョージ・ワシントン大学 (アメリカ) フルブライト研究員、ダッカ大学 (Bangladesh) 客員教授、王立ブロンベン大学 (カンボジア) 教育学大学院国際諮問委員などを歴任。現在も、カンボジア、ラオス、ガーナ、ケニアなどにおいて、ユネスコ、アジア開発銀行、国連大学などの国際機関や日本の国際協力機構 (JICA) による国際教育協力プロジェクトに携わっている。

2012. 1 / 14 土曜日 14:00 - 15:30
sat. 開催時間

上智大学大阪サテライトキャンパス 多目的ラウンジ

最寄り駅 地下鉄御堂筋線「中津駅」4番出口より徒歩2分。 阪急「梅田駅」茶屋町口より徒歩4分。 JR「大阪駅」御堂筋北口より徒歩10分。

参加対象者

高校生、ご父母、高等学校教員、上智大学・上智短期大学・
上智社会福祉専門学校卒業生・教職員及びその子女

ご参加特典

当日講座にご参加くださった皆さんに、上智学院創立100周年事業として作成しました「救世鳥」(非常食として開発されたパンの缶詰。使用しなかった場合は2年後に回収、義援物資として世界の飢餓地域や災害地域等に輸送され、国際貢献活動に役立てられます。)をプレゼントします。



大阪で上智大学の学びを体感!

進学説明会
同時開催

進学説明会

13:00~13:50 15:40~16:30
大阪サテライトキャンパス 教室2

個別相談コーナー

13:00~17:00
大阪サテライトキャンパス 教室3

本チラシ裏面に記入の上FAX送信、またはE-mailにて必要項目記入の上、お申し込みください。

申込締切日 / 2012年1月11日(水) >>